



ハナモモの植樹リレー物語

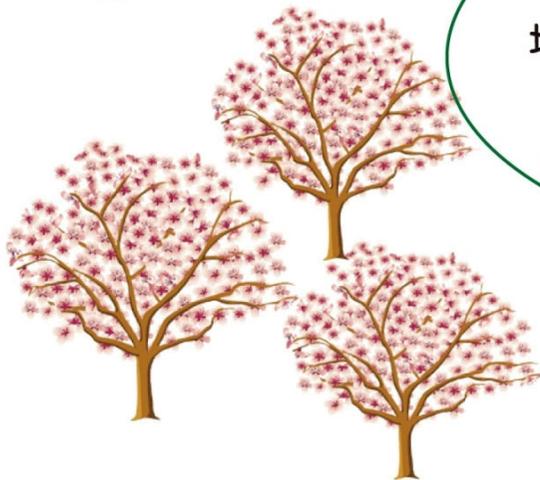
そのルーツはドイツにあり



製作：高蔵寺ニュータウン 桃源郷プロジェクトチーム



1



川上貞奴と福澤桃介

福澤桃介



私がドイツから持ち帰った
ハナモモがこれほどみんなに愛され、
増えていくとは 思いもよいませんでした。
今度は高蔵寺ニュータウンであか？
空の上から、眺めさせてもらいまあよ。

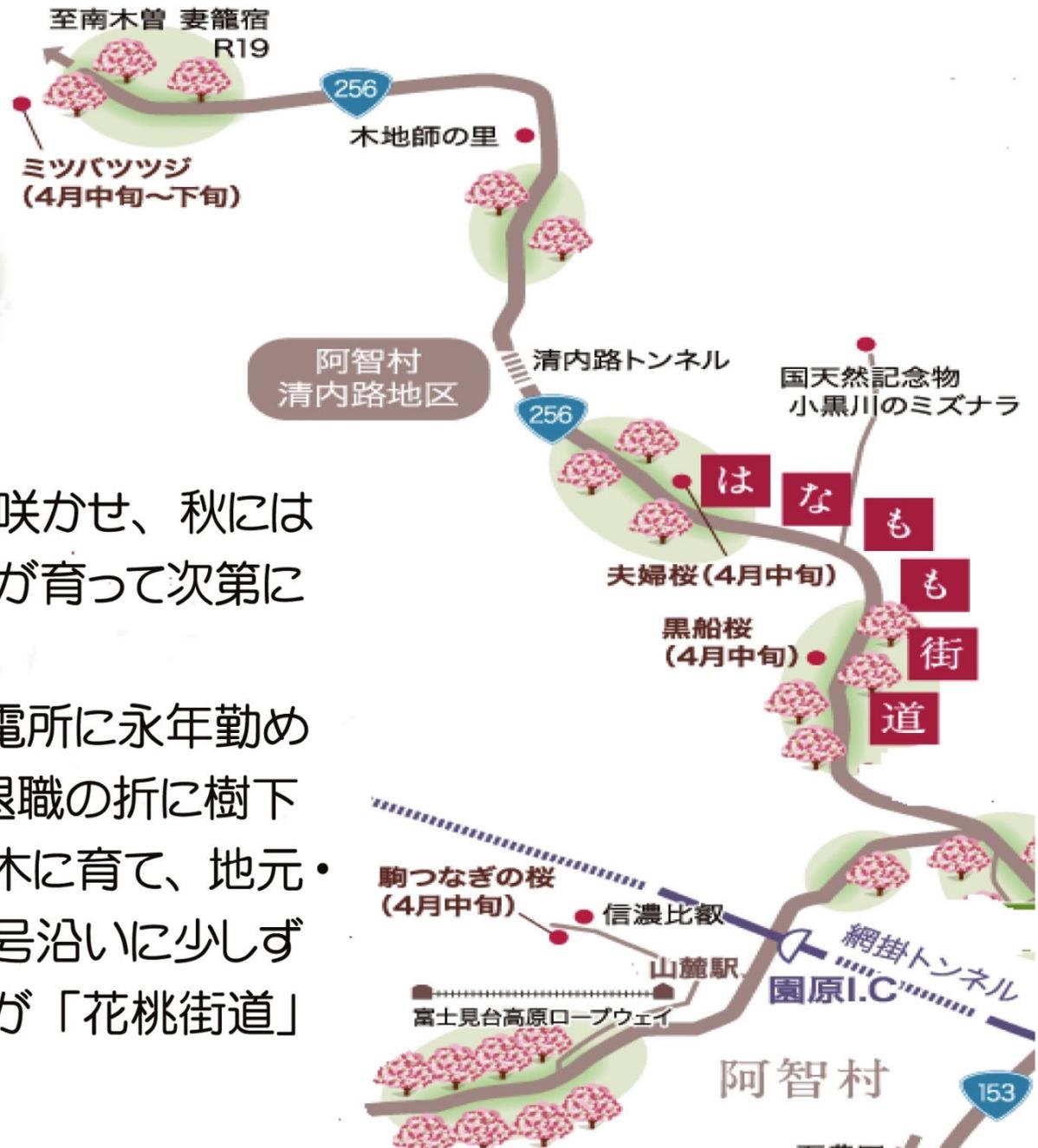
1922（大正11）年、「日本の電気王」
福澤桃介さんはドイツ・ミュンヘンのシーメンス社に
商談で訪れ、その庭で見かけた三色のハナモモに
心を奪われました。自分の名前との縁も感じた桃介
さんは苗を3本譲り受けて帰国し、同年稼働開始し
た長野県大桑村の須原発電所構内に植えました。
当時彼は名古屋市にある「日本の女優第一号」川
上貞奴さんの邸で暮らし、しばしば二人で南木曾の
別荘に滞在したそうです。植樹も貞奴さんと一緒
だったかもしれませんね。

2



ハナモモは毎年美しい花を咲かせ、秋には種を落とし、その種から苗が育って次第に周囲に広がっていきました。

1948（昭和23）年、発電所に永年勤めた藤原長司さんは、定年退職の折に樹下に落ちている実を拾って苗木に育て、地元・妻籠宿前を通る国道256号沿いに少しずつ植えていきました。これが「花桃街道」の始まりです。



3

私の生まれた妻籠では、
ハナモモが綺麗に咲くとるんです。
嫁入り道具の一つとして大好きな花桃の苗
を妻籠から持って来ました。清内路は私が
これから生きていく土地でしょ。見知らぬ土
地でも故郷のハナモモを見れば寂しくない
であらね。
(大宮トメ)

1974（昭和50）年、妻籠宿から清内路村（現・阿智村清内路）に嫁いだ大宮トメさんは、嫁入り道具の一つとして持ってきたハナモモの苗を庭に植えました。花が咲くとその美しさに魅了された村の人達が、種苗をもらって庭先や畑の土手に次々に植え始めました。桜より花期が長くあでやかに春を彩るハナモモを清内路の人々は溺愛し、「清内路ならではの花にしよう」と門外不出としてしまいました。



4



斎樹祭用の苗木を
掘りあげる平成の花
咲か爺の渋谷さん。
この苗木が高蔵寺
に11-1-1されました。
(2017年)

そうだ!
わしが平成の花咲か爺さん
にろう!! 熱意があれば、
門外不出でも
何とか手に入
れられるだろう。



1991 (平成3) 年、園原 (阿
智村) に地域振興事業として
温泉旅館「野熊の庄月川」
が開業されました。

当時、一帯は恵那山トンネル
と園原ICの工事で出た土砂の

造成地が広がる荒涼とした地域でした。

「月川」の初代社長・渋谷秀逸さんは「この地に住む
喜びと誇りが欲しい。過疎地に元気をもたらしたい」と、
可憐なハナモモを植えることを思い立ちます。

渋谷さんは清内路村に「門外不出」の苗を分けてもら
えないかと頼み込みました。そして何度も断られながら
も、ついに苗木を25本手に入れたのです。

5

それから忙しい仕事の合間を縫い、たった一人で私財を投じて約1000本のハナモモの苗を一帯に植え続けました。宿の周りや阿智川沿いにハナモモの並木ができると、それまで時々目にした不法投棄はなくなっていきました。「手塩にかけて綺麗にしておけば誰も汚そうとは思わなくなるもんだ」と渋谷さんは笑顔で語ります。5年経つ頃から次第にハナモモ目当ての観光客が増え始めました。



上の写真は、
トンネル工事が出た土砂を使って
作った造成地です。
ここに温泉旅館「野熊の庄 月川」
を建て、傍を流れる阿智川に
一人でハナモモを植えて
いったんですよ。



柔和な顔で話す渋谷秀逸さん

⑥

花の美しさは、渋谷さんの目指す「地域の誇りに」という想いを住民の心に植え付けます。

2002(平成14)年、地域住民で「花桃の里作り委員会」が組織され、それを機に植樹は加速度をつけて進みました。2005(平成17)年には「花桃まつり実行委員会」が発足し、今では阿智村全体で約1万本の花桃を愛でようと、毎春20万人の観光客が訪れます。



一人の発想と実行力が山間の過疎地に地域住民のつながりを生み、ついには「日本一の桃源郷」を創り出したのです。

誰もが感嘆の声を挙げる、阿智村のハナモモ

7

ドイツから持ち込まれたハナモモは人々を魅了し、種苗をバトンとしたルーを繰り返して殺風景な辺境の地を華やぎに満ちた「桃源郷」と変えました。次は高森台県有地に「桃源郷」を実現しよう。その信念で平成29（2017）年バトンを阿智村から受け継ぎました。毎年多くの人々の手で大切に植え育てれば、人と人とのつながりも生まれ、少しずつ「桃源郷」らしくなってくれるはず。色とりどりに咲き誇る花を愛でに人々が訪れる場所になることを夢見て、私たちの活動は続きます。

